

オリンピックを目指す選手に求められるもの

公益財団法人日本オリンピック委員会

オリンピックを目指す選手の行動規範

1、責任ある行動

我々はオリンピック代表に選ばれた時点から、国民の大きな期待と注目を受ける存在となることを自覚する。オリンピック大会の開催前、大会中、さらに大会終了後も「日の丸」を胸に付けた、国の代表としての誇りを忘れない。

我々の競技活動には国民の税金を含む強化資金が提供されており、オリンピック大会への派遣は国費で賄われる。こうしたことから国民の大きな期待に応えるには、競技での活躍だけでなく、競技を離れた場でも社会の模範となる行動を心がける。

2、規律ある行動

我々は全てに規律ある行動をとらなければならない

- ・ 選手団の結団式や大会でのメダル授与式など公式行事では脱帽の上、姿勢を正して国旗を見据え「君が代」を斉唱する。他国の国旗掲揚でも、同様に脱帽、姿勢を正し、勝者に敬意を払う
- ・ 大会参加規定、肖像及びメディア活動等に関する規制事項を確認し、これらに抵触しないよう十分に注意する
- ・ 世界各国・地域からの選手団および開催地の市民との友好、親善に心がける

3、競技への心構え

- ・ 自分が今日まで実践してきたトレーニングに自信を持つ。平常心で試合に臨む。試合では集中力を高める（プレッシャーに打ち勝つ）
- ・ 競技規則を守り、審判と対戦相手に敬意を払う（武士道の精神）
- ・ 独りではなく、日本代表選手団全員で戦うことを意識する（チームジャパンの意識）
- ・ 自らの責任においてコンディションを万全に整え、試合では実力を十分に発揮できるよう調整する

4、危機管理

- ・ 大会現地では厳重な警備が敷かれるが、自分の安全を守るのは、結局は自分自身であることを自覚する。特にオリンピック資格認定証（ADカード）区域の選手村、競技会場などの外に出る場合は十分に注意する
- ・ けが、病気への対応は原則を守り、予防に徹する
- ・ 情報は常に幅広く共有する
- ・ 「危機管理マニュアル」を熟読し、理解する

5、ドーピングに関する対応

- ・ アンチ・ドーピングの理念、必要性を十分に理解する
- ・ 薬を服用する場合は必ず事前にドクターに相談する
- ・ 競技会検査及び競技会外検査（抜き打ち検査）は、いつでも実施される可能性があることを認識する。その際の選手の権利と義務について確認しておく
- ・ 居場所情報の提出を怠らない

6、メディア対応

- ・ インタビューには常に堂々と答える
- ・ 大会には世界各地からさまざまなメディアが取材に訪れる。競技や選手に対する理解が必ずしも十分でないメディアから、取材を受ける可能性があることを承知しておく。同じ質問を再三受けても、冷静に規律ある対応をする
- ・ 敗戦後のメディア対応も、対戦相手への敬意、支援してくれた関係者・ファンへの感謝を忘れずに行う
- ・ ブログやソーシャルメディアのガイドラインをしっかりと理解し、自身の発言が及ぼす影響の大きさを自覚する

以上